

# $\varepsilon$ - $N$ 論法についての補足

例

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2n}{n+1} = 2$$

<数学科以外では...>

$$\left| \frac{2n}{n+1} - 2 \right| = \left| \frac{-2}{n+1} \right| = \frac{2}{n+1} \rightarrow 0 \quad (n \rightarrow \infty)$$

<数学科では...> □

$\forall \varepsilon > 0$  に対し,  $N_0 := \left[ \frac{2}{\varepsilon} \right] + 1 \in \mathbb{N}$  とおく.

(このとき,  $N_0 > \frac{2}{\varepsilon} > \frac{2}{\varepsilon} - 1$  となることに注意する.)

$\forall n \in \mathbb{N}$  に対し,  $n \geq N_0$  ならば

$$\left| \frac{2n}{n+1} - 2 \right| = \left| \frac{-2}{n+1} \right|$$

$$= \frac{2}{n+1}$$

$$\leq \frac{2}{N_0+1} \quad (\because n \geq N_0)$$

$$< \frac{2}{\frac{2}{\varepsilon}} \quad (\because N_0 > \frac{2}{\varepsilon} > \frac{2}{\varepsilon} - 1)$$

$$= \varepsilon,$$

↑  
これは書いていないけれど  
よい

すなわち  $\left| \frac{2n}{n+1} - 2 \right| < \varepsilon$  が成り立つ。 □

①  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = a$  を示すには,  $|a_n - a|$  を 評価 する

ことがとても大切。つまり,  $|a_n - a|$  が 0 に収束

することがわかるような 不等式 を作る ことが大切。

<論理記号と証明>

$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2n}{n+1} = 2$  を示すには定義に戻ってみると

$\forall \varepsilon > 0$ に対して	$\exists N_0 \in \mathbb{N}$ s.t.	$\forall n \in \mathbb{N}$ に対して
①	②	③
$n \geq N_0$	$\Rightarrow$	$ \frac{2n}{n+1} - 2  < \varepsilon$
④		⑤

を示せばよい。だから、基本的な証明の書き方は次のようになる。

証明

$\forall \varepsilon > 0$  に対して  $N_0 := \boxed{A} \in \mathbb{N}$  とおく。

① ②

このとき  $\forall n \in \mathbb{N}$  に対して  $n \geq N_0$  ならば

③ ④

B (⑤ を示すための理由がここ)

だから  $|\frac{2n}{n+1} - 2| < \varepsilon$  が成り立つ。 □

⑤

①  $\boxed{A}$  を暗算で見つけるのは難しいので、みつけ方、どんな条件があるか? を講義ではやっていた(考察に对应する部分)。

問題  $\boxed{A}$  と  $\boxed{B}$  を埋めて、証明を完成させよ。

問題

$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{3n-2}{2n+3} = \frac{3}{2}$  の証明を、次の  $\boxed{A}$ ,  $\boxed{B}$  を

用いることで完成せよ。

示せばよいこと

$$\frac{\forall \varepsilon > 0 \text{ に対して, } \exists N_0 \in \mathbb{N} \text{ s.t.}}{\text{①} \quad \text{②} \quad \text{③}}$$

$$\frac{n \geq N_0}{\text{④}} \Rightarrow \frac{\left| \frac{3n-2}{2n+3} - \frac{3}{2} \right| < \varepsilon}{\text{⑤}}$$

証明

$$\frac{\forall \varepsilon > 0 \text{ に対して,}}{\text{①}} \quad \frac{N_0 := \boxed{A} \in \mathbb{N} \text{ とおく。}}{\text{②}}$$

$$\frac{\forall n \in \mathbb{N} \text{ に対して,}}{\text{③}} \quad \frac{n \geq N_0 \text{ ならば}}{\text{④}}$$

$$\boxed{B}$$

$$\text{だから } \frac{\left| \frac{3n-2}{2n+3} - \frac{3}{2} \right| < \varepsilon \text{ が成り立つ。}}{\text{⑤}} \quad \square$$

- ① 上記証明が何もみなくてもかけるようになることが  
前期中間までの目標です。

3.4  $0 < r < 1$  に対して  $\lim_{n \rightarrow \infty} r^n = 0$  を  $\varepsilon$ - $N$  論法  
で証明せよ。

< 数学科以外では... >

1.6 よし  $\alpha := r^{-1} - 1$  とおくと  $\alpha > 0$  であり

$$\begin{aligned} (1+\alpha)^n &\geq 1+n\alpha + \frac{n(n-1)}{2}\alpha^2 \\ &\geq n\alpha \end{aligned}$$

となる。すなわち

$$r^{-n} \geq n(r^{-1} - 1)$$

となるので

$$r^n \leq \frac{1}{n(r^{-1} - 1)}$$

となる。従って

$$|r^n - 0| \leq \frac{1}{n(r^{-1} - 1)} \rightarrow 0 \quad (n \rightarrow \infty)$$

となるので  $\lim_{n \rightarrow \infty} r^n = 0$  となる。

①  $r^n \leq \frac{1}{n(r^{-1} - 1)}$  で評価したことが証明の

ポイントである。このアイデアをどうやって  $\varepsilon$ - $N$  論法

に生かせばよいかを考えよ。